

令和6年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会 議	部会名 第2回 権利擁護部会	日 時 令和6年9月19日(木) 13:30 ~ 15:30
	会場 伊那市福祉まちづくりセンター 3階 第1,2研修室	参加者数 41人
主 テ ー マ	① 講義「能登地震の実際の様子や福祉避難所の現状や機能」について ② ワークショップ	
	<p>① について</p> <p>講義「災害派遣活動報告～能登町福祉避難所～」</p> <p>○被災地の状況、活動拠点と活動場所、避難所の様子、避難所相談対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DWAT(災害派遣チーム)の主な活動先は一般避難所、被災事業所等 ・一人で考え行動するのではなく、様々な専門職が連携することが重要。 ・平時から出来ることを常に考え、災害が発生した時にどのような備えをしなければいけないのか?考えることが大切。 ・正確な情報を周知していくこと、被災者の心情を受けとめ、考えや想いを尊重する。また生命の危険がないか、他者からの権利侵害がないのか、感度を高く相談にあたる。 <p>講義「福祉避難所とは」</p> <p>○福祉避難所の実態について、ワークショップを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登の地震では、平時の課題がより顕在化した。いつも困っていることが、災害により大きくなる。 ・避難所は元々、暮らすために作られた場ではない。福祉避難所を強化しないと、発災直後よりそれ以降が長い。平時の繋がり、地域との繋がり、福祉と防災が結びつくことが大事。 ・リスクコミュニケーションを具体的にする。被災した場合、助けに来てと言えるのか。洗い出しや準備が必要。BCP対策が重要。 ・アイデアを出し合い、市町村単位だけでなく広域のBCP作成が必要ではないか。 <p>② について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理担当課、福祉担当課、施設、事業所(当事者含む)の4グループで、大災害時に施設として必ず困ること、困らないように実施している対策、またアイデア出しを行う。 	
ま と め	関係者や当事者が集まり、アイデアを出し合い、お互いを知り、平時からの繋がりが大事である。防災と福祉が連携し、上伊那全体で考えるきっかけとなった。	
次 回	令和6年10月26日(土) 13:30～ 内容:虐待防止研修 講演会「弱さを愛せる社会へ」 場所:宮田村民会館	